



研究者名※	榎本 聡 ENOMOTO Satoshi	学位※	博士(工学)
所属※	人間社会学部 教育学科	職名※	准教授
連絡先			
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/enomoto		
研究分野※	教育工学, 教育学, 教育社会学, 教科教育学		
研究キーワード※	教材情報システム, 教授学習支援システム, 学習環境, 教師教育, 教育政策, 教育情報システム, 教員養成		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校プログラミング教育のブレンディング型支援システムの構築と評価(科学研究費・基盤C・研究分担者, 2021~2023年) ・教科書単元及び学習指導要領新旧対象データベース(科学研究費・研究成果公開促進・代表者, 2021年) 		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・新宿区防災サポーター連絡協議会副会長(2018年~) 		
受賞歴	Outstanding Poster Award, Association for the Advancement of Computing in Education (2004年)		

研究領域	教員養成	
研究テーマ※	教職課程におけるICT活用指導力の育成に関する研究	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 現職教員のICT活用指導力の育成については、現状では主に教員研修や免許状更新講習等で行われており、ICT活用指導力は年々向上している。しかし、教員を目指す学生に対しては、各大学において独自に取り組みが行われており、その実態は明らかではなかった。2016年に教員養成を行っているすべての大学等に質問紙による調査を実施したところ、大学環境の要因(ICT機器の整備遅れやICT活用のための支援体制の不足)、大学教員の指導要因(ICT活用指導力の育成を考慮した授業設計がなされていない、学校現場の現状を把握できていない)といった課題が明らかになった。</p> <p>【応用例、研究の展望】 その後、教育職員免許法施行規則の改正により教職課程におけるICT活用に関する内容の修得促進に向けた取り組みがなされることとなった。今後はICT活用指導力の育成を考慮した授業設計が進められるものと考えられる。また、GIGAスクール構想の実現に伴い、学校現場で求められるICT活用指導力も変化していくことが予想される。</p> <p>教職課程におけるICT活用に関する内容の修得促進に係る実施状況や、大学環境の要因等についての改善状況に関する調査、GIGAスクール時代のICT活用指導力について等を検討することにより、学校現場が必要とし、採用直後から活躍できる教員を養成することが必要と考える。</p>	
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・榎本聡, 「教職課程におけるICT活用指導力の育成に関する実態調査」, 「国立教育政策研究所紀要」pp.9-28, 2018年 	
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・教職課程におけるICT活用指導力の育成 ・教職課程におけるプログラミング教育の指導 	